

平成26年 9月10日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

復興支援道路【宮古盛岡横断道路（都南川目道路）】

盛岡工業高校の生徒が復興支援道路で現場見学！

～ 未来の担い手は君たちの中に！～

宮古盛岡横断道路を構成する「都南川目道路（1工区）」は、復興支援道路として「平成27年度開通」を目指し、現場作業を進めているところです。

この度、盛岡工業高校土木科の生徒34名が専門分野の知識を習得し、普段の学習内容について、より興味・関心を高めるため復興支援道路の工事状況を現地にて視察研修を行うものです。

記

1. 日 時 : 平成26年9月17日（水）午前8時50分～10時
2. 視察場所 : 新川目トンネル 他
3. 参加者 : 盛岡工業高校土木科（2年） 34名
4. 集合場所 : 岩手県盛岡市川目地内 （別添会場案内図参照）
5. その他 : 取材をされる際は、午前8時50分までに集合場所へお越しください。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ・東北専門記者会》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副 所 長 かめい 亀 井 まさよし 督 悦 電話 019-624-3131

工務第二課長 とのさき 外 崎 たかひろ 高 広 電話 019-624-3195

宮古盛岡横断道路の進捗状況は、下記URLでご覧いただけます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/fukkoudouro/index.htm>



(工程)

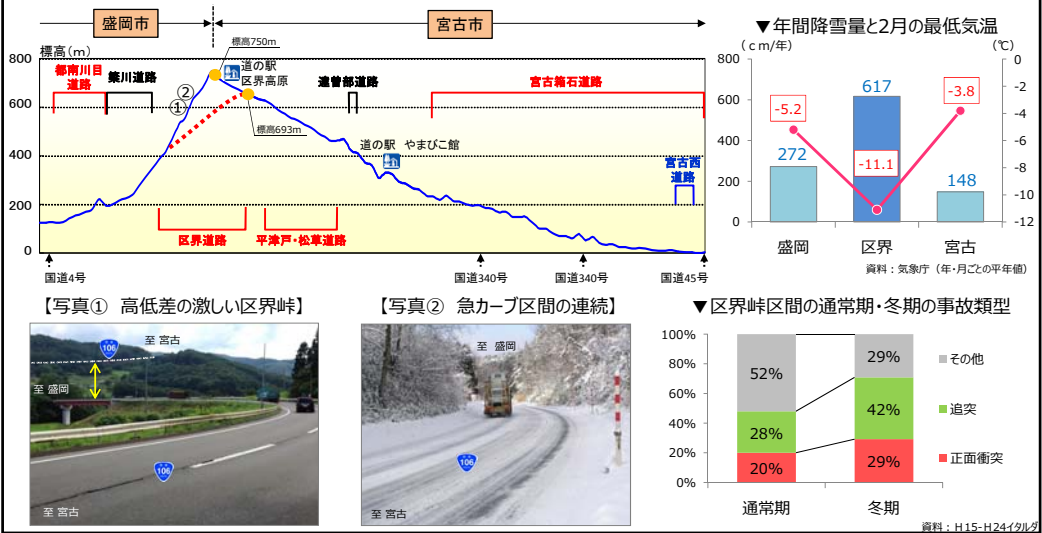
①北上川左岸堤防	: 8:50 ~ 9:05
②田の沢インター付近	: 9:15 ~ 9:40
③新川目トンネル(宮古側坑口)	: 9:45 ~ 10:00

★印が今回の見学現場になります。



国道106号最大の難所が解消

- ◆ 国道106号で最も標高が高い「区界峠」は、冬期の道路環境も厳しく、地域間交流の大きな障害
- ◆ 最大難所の解消により、宮古地域～盛岡地域の地域間交流を促進



災害時における緊急輸送道路の確保

- ◆ 東日本大震災では、宮古市等の沿岸地域で甚大な被害が発生
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

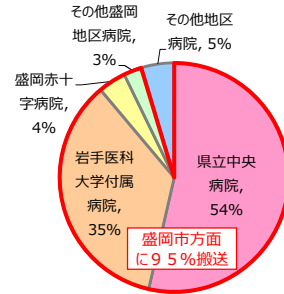
- ◆宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の医療施設へ救急搬送
- ◆宮古盛岡横断道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

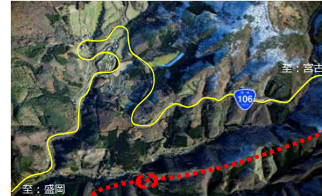
全面通行止（過去10年間）
回数：17回
合計時間：112時間



▼宮古地域の管外搬送状況



▼区界地区の急カーブ状況



沿岸地域の主要産業の復興を支援

- ◆宮古市のコネクタ製造や山田町の養殖カキ生産は、宮古地域を代表する産業
- ◆宮古盛岡横断道路は、輸送時間の短縮など物流効率化を促進し、沿岸地域の早期復興を支援

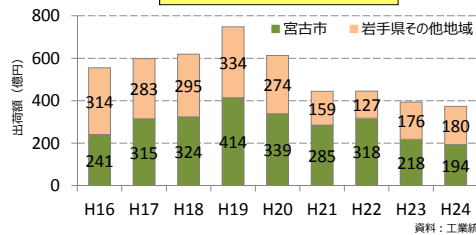


至 東京方面等



▼岩手県内のコネクタ出荷額の推移

岩手県が全国7位の出荷額



▼岩手県殻付きカキ取扱量

